

第6回TRIZシンポジウム

(TRIZ Symposium 2010 in Japan)

-新分野適用と普及拡大を目指して-

(2010年9月9日~9月11日、於：神奈川工科大)

開会にあたって

2010年9月9日

NPO法人日本TRIZ協会

理事長 林 利弘

所在地：〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-5-7 秋葉原イーストビル4階

TEL：03-5809-2413 FAX：03-5809-2412

E-mail：info@triz-japan.org URL：<http://www.triz-japan.org/>

第6回TRIZシンポジウム開催の趣旨と狙い

TRIZとその関連分野での

発表・討論・交流の場を提供する。

- 1) 創造的な技術革新の技法「TRIZ」の普及・推進・適用の仕方を広く発表・討論する。
- 2) TRIZ及び関連技法・アイデアに関して、その技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する。
- 3) 日本と世界のTRIZ関係者の交流を図り、TRIZ及び関連技法の理解と普及を促進する。
- 4) 今回の主題：**新分野適用と普及拡大を目指して！**

TRIZシンポジウムの発展・経過

2010年9月1日現在

回次	主催	開催時期	開催場所	参加者	発表件数
第1回	日本 TRIZ 協議会	2005年9月	ラフォーレ修善寺	104名	20
第2回		2006年8月末	パナヒルズ大阪	157名	34
第3回		2007年8月末	東芝研修センター	204名	34
第4回	日本 TRIZ 協会	2008年 9月10日～12日	ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県)	180名	46
第5回		2009年 9月10日～12日	国立女性教育会館 (埼玉県)	132名	42
第6回		2010年 9月9日～11日	神奈川工科大 (厚木市)	165名	40

今回（第6回）シンポジウムの特徴

イノベーションが求められる時代に相応しい内容

- 1) 2件の基調講演：次頁スライド参照
プレセッション：
 - ・国内初心者向けのチュートリアル
 - ・海外からの参加者との予備セッション
- 2) 「新分野適用と普及拡大を目指して」とのテーマのもと、5件のテーマ講演を設定。
- 3) 発表件数は40件（基調講演2件含む）でほぼ前年並み。
- 4) 海外からの発表：6カ国（韓国、イラン、カナダ、英、イタリア、タイ）14件（基調講演含む）
- 5) 発表者層・適用範囲の拡大：大企業から中小企業、さらには各種教育研究機関、グループ・個人レベルでの各種取り組みや適用事例の発表、また、技術分野中心の適用から非技術分野でのTRIZ適用と、幅広い発表。
- 6) ・会員諸兄のボランティアによるスライドの和英同時投影、討論の通訳
・報告集のUSBメモリー化によるフルカラー化

第6回TRIZシンポジウム招待講演

基調講演 1 :

イランにおけるTRIZの社会的普及活動

- Mr. Mahmoud Karimi -
(イラン革新・技術研究所副所長, イラン)

基調講演 2 :

強力な思考の一般理論 (OTSM)

- Mr. Nikolai Khomenko -
(TRIZマスター、カナダ)

今回の5件のテーマ講演

J104 : 商品企画のためのTRIZの活用

-イノベーション創造型TRIZの構築-

澤口 学(早稲田大学大学院創造理工学研究科)

J105 : マネジャのためのTRIZ

山口 和也 (MOST合同会社)

J106 : TRIZ活用の知財戦略と実践

片岡 敏光 (株式会社 パットブレン)

J107 : ソフトウェア、ITのためのTRIZの活用

福嶋 洋次郎 (元パナソニック) 、庄内 亨 ((株)日立製作所)

J108 : 教育とTRIZ: 新しい展望のために

中川 徹 (大阪学院大学)

第1-6回TRIZシンポジウム発表者・参加者内訳推移

2010年9月1日現在

			2005 (1)	2006 (2)	2007 (3)	2008 (4)	2009 (5)	2010 (第6回)
論文発表者	国内	大学/研究機関	1	6	3	4	5	→ 6
		一般企業	9	10	10	10	10	↘ 6
		個人/研究会ほか	2	2	6	10	6	→ 9
		サービス提供者	5	5	5	8	7	→ 5
	海外	3	11	10	14	14	→ 14	
	計	20	34	34	46	42	→ 40	
チュートリアル他				2	2	2	→ 2	
参加者 (講演者含む 事前申込み ベース)	企業ユーザー (開発関係)		71	94	142	97	62	96 (40)
	教育・研究機関・コンサル		9	43	42	40	50	46 (8)
	ツールベンダー		15	2	1	7	4	4 (0)
	その他 (知財/IT/個人ほか)		9	8	10	23	16	19 (0)
	計		104	147	195	167	132	165 (48)
シンポジウム終了時点の参加者				157	204	179	137 (海外 19)	

参加者プロフィール（参加履歴）

—国内参加者—

2009

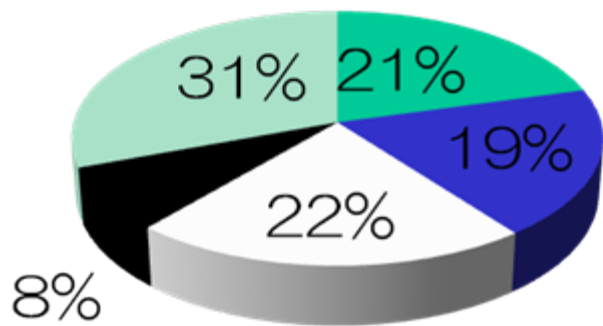
■ 初参加

■ 2回目

□ 3回目

■ 4回目

■ 5回以上



計111名

2010

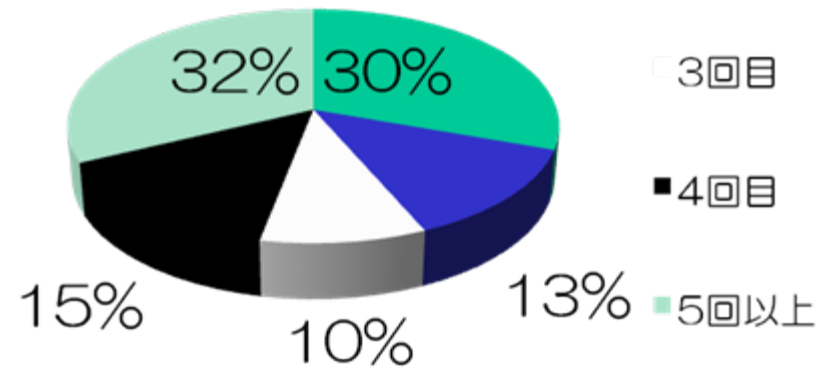
■ 初参加

■ 2回目

□ 3回目

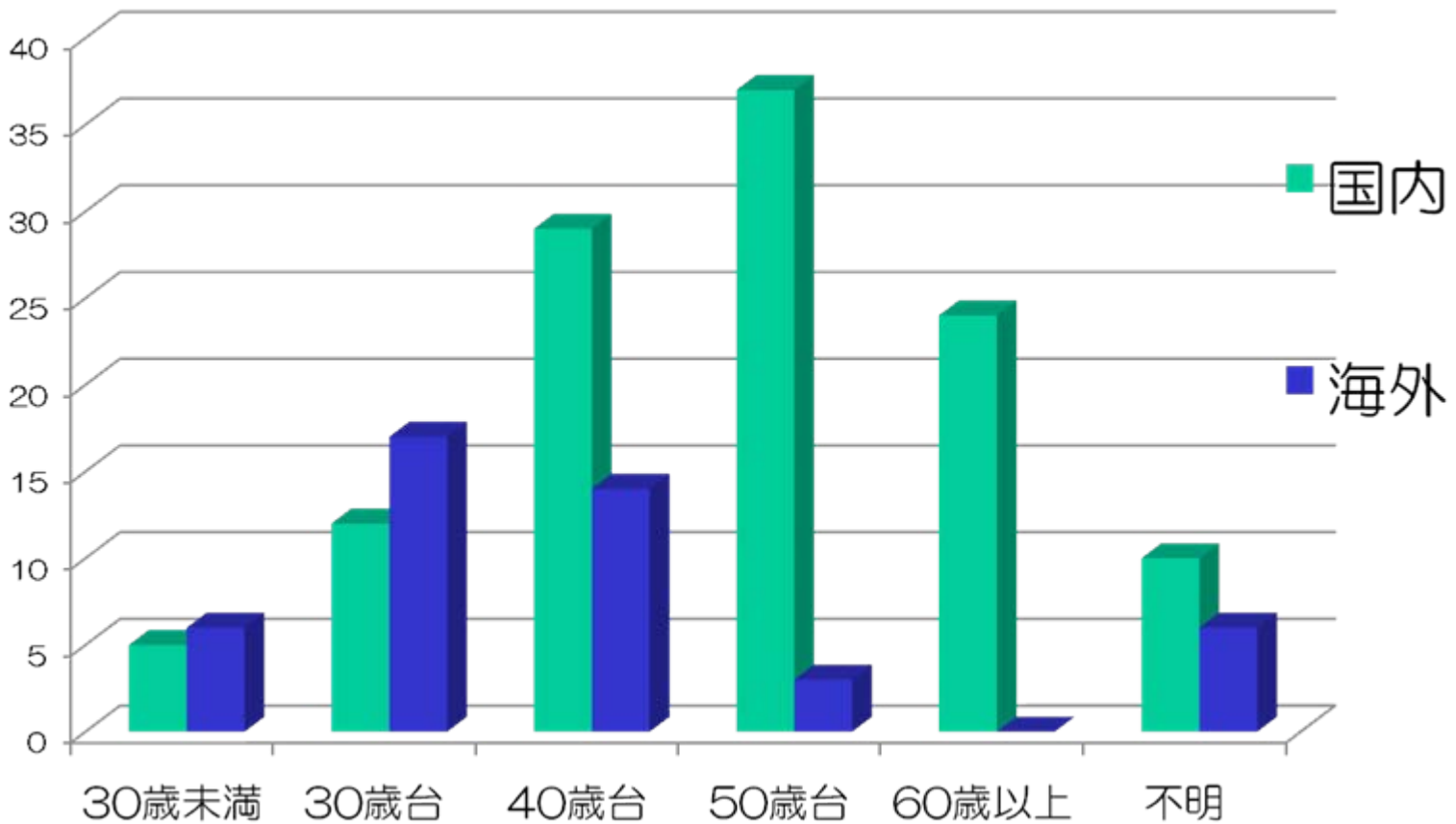
■ 4回目

■ 5回以上



計115名

参加者プロフィール（年齢分布）



主催者：NPO法人日本TRIZ協会について

経過

- 2004年5月 : TRIZ懇話会発足
- 2005年1月 : 日本TRIZ協議会へ衣替え
- 2007年12月27日: NPO法人日本TRIZ協会正式発足

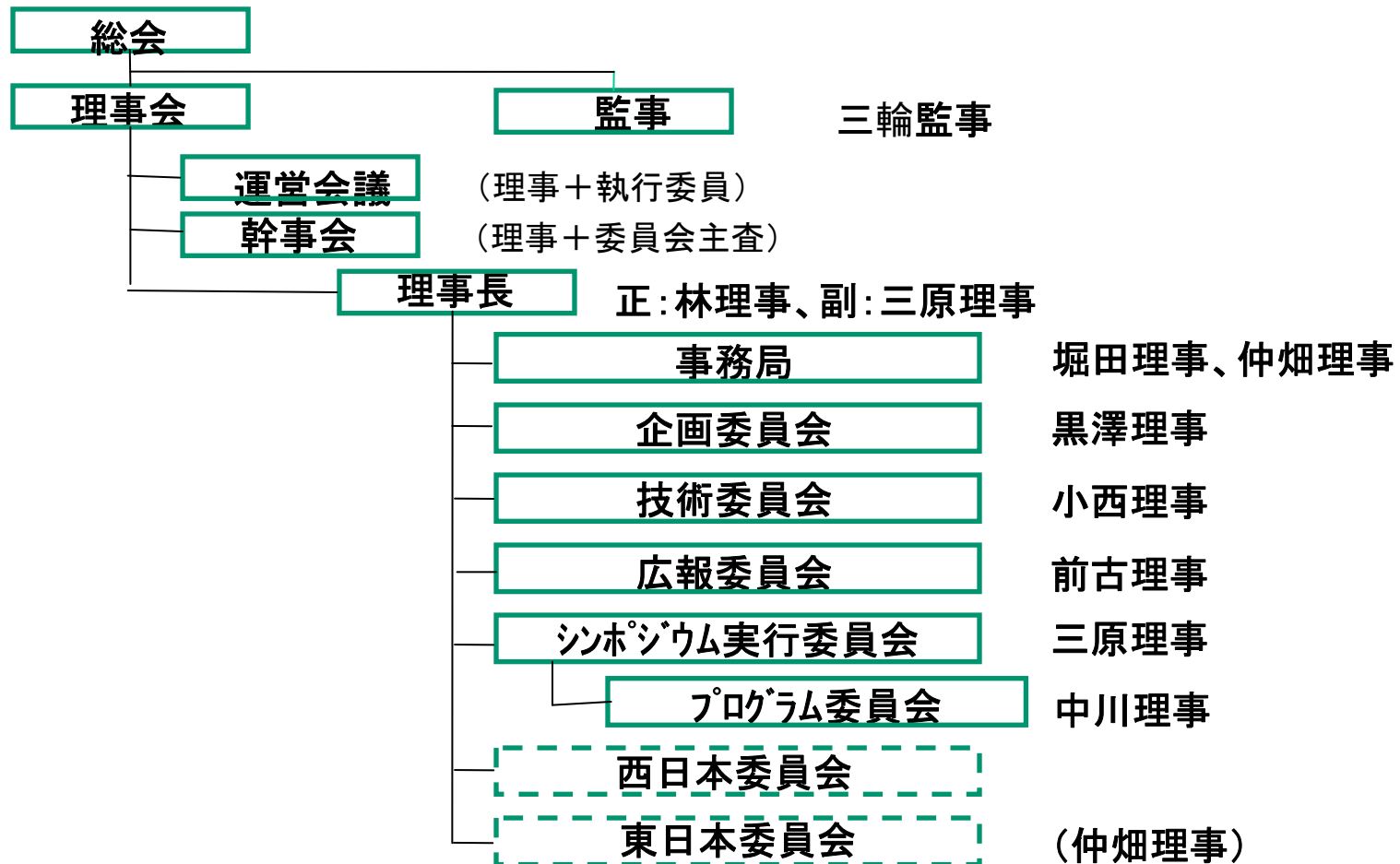
活動形態 : 会員ベースの公共的な
ボランティアベースの非営利法人活動

- 日本におけるTRIZ普及活動のセンターとして機能する。
- 我が国の技術開発力・国際競争力強化に資するため、活動をよりオープンで全国的なものにする。
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する。

NPO法人日本TRIZ協会の現況と運営組織

1. 会員数：正会員：123名（2008）、107名（2009）、120名（2010見込み）
賛助会員：2社（2008）、1社（2009）、2社（2010）

2. 運営組織：（2010年6月30日現在）



NPO法人日本TRIZ協会各委員会・事務局の分掌

- 企画委員会：協会事業の企画立案
- 技術委員会：技術面での協会としてのオーソライズ、研究会統括
- 広報委員会：対外、対会員広報（HP運営含む）
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画・運営
 - ◆ プログラム委員会：シンポジウムプログラムの発表公募とプログラム編成
- 西日本委員会：愛知県以西の活動推進（現在休止中）
- 東日本委員会：静岡県以東の活動推進（当面休止）
- 事務局：各種協会事業の実施運営

NPO法人としての活動内容

(NPO法人日本TRIZ協会HPより)

1. TRIZシンポジウムの企画開催

- ・国内中心で海外からの参加もよびかける。1回／年開催。

2. 研究会活動

- ・TRIZの適用方法、事例研究など、TRIZを様々な分野/場面で活用するための研究とガイダンスの構築を目指し、TRIZの普及・発展に供する。「日本TRIZ協会」会員は参加できる。

3. セミナーの企画開催

- ・関係協力機関との共催または後援／協賛によるセミナー開催を行う。

4. 教育／出版用コンテンツの開発

- ・教育・普及のためのコンテンツを開発し、書籍出版、eラーニング、講習会などで活用する。
- ・既存文献（特に、英語の）、上記研究会の成果、関係協力機関のコンテンツ、などの活用を図る。

日本TRIZ協会の研究会活動について

- 1) 「知財創造」研究分科会 (主査：長谷川公彦氏)
活動成果等はポスターセッションA1で紹介
- 2) 「ビジネス・経営TRIZ」研究分科会
(主査：吉澤郁雄氏)
活動成果等はポスターセッションA1で紹介

2010年10月よりの新規活動

- 3) 「教育とTRIZ」研究分科会 (主査：中川 徹氏)
活動の進め方等はテーマ講演3、9/11朝の分科会で紹介
<http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/jlinksref/JTS/JTS-EducationSG.html>
- 4) 「ITとソフトウェア」研究分科会 (主査：庄内 亨氏)
活動の進め方等はテーマ講演4、9/11朝の分科会で紹介で紹介

第6回シンポジウム準備組織および協力者(1)

全体統括 : 林 利弘

準備組織 (シンポジウム実行委員会)

実行委員会委員長 : 三原祐治

実行委員 (事務局) : 堀田 政利、清水 玲子(日本TRIZ協会)

(会場担当) : 石濱 正男

(海外対応) : 中川 徹、井上 淳 (東芝)

プログラム委員長 : (正) 中川 徹、(副) 小西 慶久

プログラム委員 (兼ポスターセッション担当) : 福嶋洋次郎

プログラム委員 : 庄内 亨

開催準備協力者 : 黒澤慎輔、仲畑光蔵、正木敏明、海野誠、有田節男
菊池史子、片岡敏光、長谷川公彦、国友秀世、
前古 護、大田哲也、池田理、横山和正

デザイン協力 : 後藤一雄 (リコー)

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

第6回シンポジウム準備組織および協力者(2)

通訳・スライド翻訳協力者

通訳者：小西慶久、黒澤慎輔、石濱正男、
上村輝之(ウィルフォート国際特許事務所)、坂田寛(日立)

和訳：小西慶久、黒澤慎輔、仲畑光蔵、菊池史子、澤口学、
正木敏明、中川徹、池田理、井上淳(東芝)、
岡建樹(コニカミノルタBT)、高原利生(個人)、
坂田寛(日立)、渡辺裕(ソニー)、望月朗(日産自動車)

英訳：中川徹、小西慶久、庄内亨、
宮下今日子(個人非会員)、津波古和司(日立GST)

英訳推敲支援：

小西慶久、中川徹、有田節男、
大曾根靖夫(日立)、中三川哲明(日立)、
津波古和司(日立GST)、石田厚子(日立コンサルティング)

【敬称略、順不同】 【所属記載なしは日本TRIZ協会の運営会議メンバー】

謝辞

今回のシンポジウム開催に当たり、
会場の使用を快諾戴き、
また種々の便宜を図って戴いた
神奈川工科大学の関係の皆様
に厚く御礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

「日本TRIZ協会」未加入の方の加入と
会員の皆様の継続、
よろしくお願い致します